

# 平成 24 年度 事業 報告

(第 11 期 平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人  
お笑い事業団ニイガタ

## I 平成 24 年度活動の重点

1. 「日本笑い学会の全国総会・研究発表会」の新潟大会開催に向けた活動
2. 「お笑い芸人」「お笑い講師」「お笑いチーム」の発掘・養成と派遣先の拡大に向けた活動
3. 県内の「お笑いネットワーク」の構築に向けた活動

## II 実施事業

### 1. 「日本笑い学会・新潟大会」開催への協力

7 月 21・22 日に新潟市中央区「NSG 学生総合プラザ STEP」で開催され、600 名の参加を得て県内外より好評価を頂き成功裡に終えた。当事業団は、その開催へ協力体制を構築し開催実行委員会へ役員以下 10 名の会員が積極的に関与し、新潟の笑いをアピールした。

- (1) 開催実行委員会へ役員やボランティアを派遣する。
- (2) 運営に対して積極的協力を行う。
- (3) 日本笑い学会新潟支部との連携をより強化する。

### 2. 「お笑い芸人」「お笑い講師」「お笑いチーム」等の派遣事業

高齢者施設・学校・各種団体の要請に応じて「お笑い使節団」芸人・講師派遣する事業は、鈴木正平理事長がリーダーとなり積極的に展開。

鈴木正平、当事業団会員、「お笑い同好会・越後」のメンバー、他が協力して出演。聴衆、派遣先からも好評をいただき、リピーターも増えてきた。

また「お笑い同好会・越後」においては清水勝理事をリーダーとして、その他役員、会員から積極的に協力をいただき実施した。

平成 24 年度までに、のべ 370 会場、観客 18,000 人余に公演し、笑いで健康と福祉に貢献できた。

#### ◆定期公演

- ・西堀地下街「よろっとローサ」で年 12 回（月 1 ペース）。
- ・西区健康福祉課、北区社会福祉協議会の所管にて高齢者対象の公演を実施。
- ・老人憩の家 3 箇所での巡回定期公演（同好会のメンバー有志らが自主的に運営し活動。）

#### ◆無償公演

清水勝理事が主となり、介護施設等への無償公演を継続。

### 3. 主催事業

#### ◆お笑い市民大学「研究発表」の開催

5月19日の総会終了後のイベントとして、「NSG 学生総合プラザ STEP」にて、第4回となるお笑い市民大学を開催。7月の日本笑い学会研究発表会のプレイベントとし、「笑いとユーモア」に関する総合的研究をテーマに、井山弘幸（新潟大学人文学部人間学講座教授）、高橋玲司（新潟良寛会）、大田朋子（民俗学・心理学講師）と鈴木正平、清水勝が研究発表・ワークショップを発表。

#### ◆第12回越後笑劇場の開催

開催日 平成24年11月23日（祝・金）  
会場 新潟ふるさと村アピール館3F「ふるさとシアター」  
内容 ①当事業団「お笑い使節団」12組の発表  
②ゲスト「柳都斎梅雪」「ウイザード」「NAMARA」

※定員116名の会場は満員。多彩な芸の発表で盛り上がった。

### 4. 交流事業

5月19日 総会・市民大学後に交流会、27名参加  
7月21日 22日 「日本笑い学会」総会・研究発表会 新潟大会へ参加  
8月21日 「日本笑い学会」新潟支部と交流  
12月16日 お笑い忘年会（交流会）の開催、24名参加

### 5. 総会の開催

5月19日 通常総会 於：NSG 学生総合プラザ STEP

### 6. 理事会・運営委員会の開催

5月19日 定例理事会  
10月17日 定例理事会  
4月～3月 第1月曜日を定例日として運営委員会を開催  
他、必要に応じて随時、運営委員会を開催した。

### 7. その他

- (1) 10月18日 鈴木正平理事長就任、今井誠さんは相談役に
- (2) 会員名簿を発行
- (3) ホームページの更新「お笑い芸人」「お笑い講師」のプロフィールを充実
- (4) 「さんわ福祉」助成金の申請 …採択される。10万円の助成
- (5) 平石千恵子会員より、寄付をいただく。(10万円、4月9日)。
- (6) 「日本笑い学会」新潟支部より、助成をいただく。(20万円、9月18日)。